

令和3年 9月 17日

保護者の皆様へ

藍畑小学校長 桑村 尚弘

新型コロナウイルス感染症の対応について(お願い)

日頃は、本校の教育活動及び新型コロナウイルス感染症対策に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

徳島県の感染状況は減少局面を迎えているものの、教職員や児童生徒の感染が多数生じていることから、明日からの連休や祝日における「人流増加」に伴い感染が再拡大することがないように、最大限の警戒を行う必要があります。

つきましては、より一層の感染症拡大防止対策について、以下の点に御理解、御協力いただきますようお願いいたします。

- 1 マスクはなるべく不織布マスクを使用し、適切に着用しましょう。  
マスクの着用方法、素材によって飛沫を防ぐ効果に違いがあります。一般的なマスクでは、不織布が最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされています。
- 2 家庭内での感染予防に努めてください。  
特に感染が疑われる方(症状のある方や濃厚接触者と特定されている方等)が家庭内にいる場合はご注意ください。
- 3 お子様の毎日の検温等による健康観察を徹底してください。  
お子様が発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合は、必ず自宅で休養させてください。その場合は、「出席停止扱い」となります。
- 4 とくしまアラート「特定警戒」が発動されていることから、同居のご家族に発熱や倦怠感、喉の違和感など風邪症状がある場合には、お子様の登校を控えてください。
- 5 明日からの連休や祝日については、「不要不急の外出」や「県境をまたぐ移動」は慎重に判断してください。

(裏面もご覧ください)

令和3年9月9日に実施されたスクリーニング検査において、徳島県もデルタ株の割合が100%となるなど、デルタ株への置き換わりが確認されています。

〈デルタ株について〉

- デルタ株の感染力はこれまでの株よりはるかに強く、1人の人から7～8人に感染させると言われています。(従来は1人の人から2～3人)
- デルタ株に感染した人が排出するウイルス量は、従来株の1000倍と報告されています。
- 感染力が強くなったことで、感染者が同居人にいると、家族内での感染を防ぐことが難しくなっています。
- 国立国際医療研究センターの調査では、退院後2か月で48%、4か月後で27%の方に何らかの後遺症が見られ、特に若い世代では半数以上の方に後遺症が認められています。

(日本感染症学会「一般市民の皆様へ」(2021年8月6日)より抜粋)